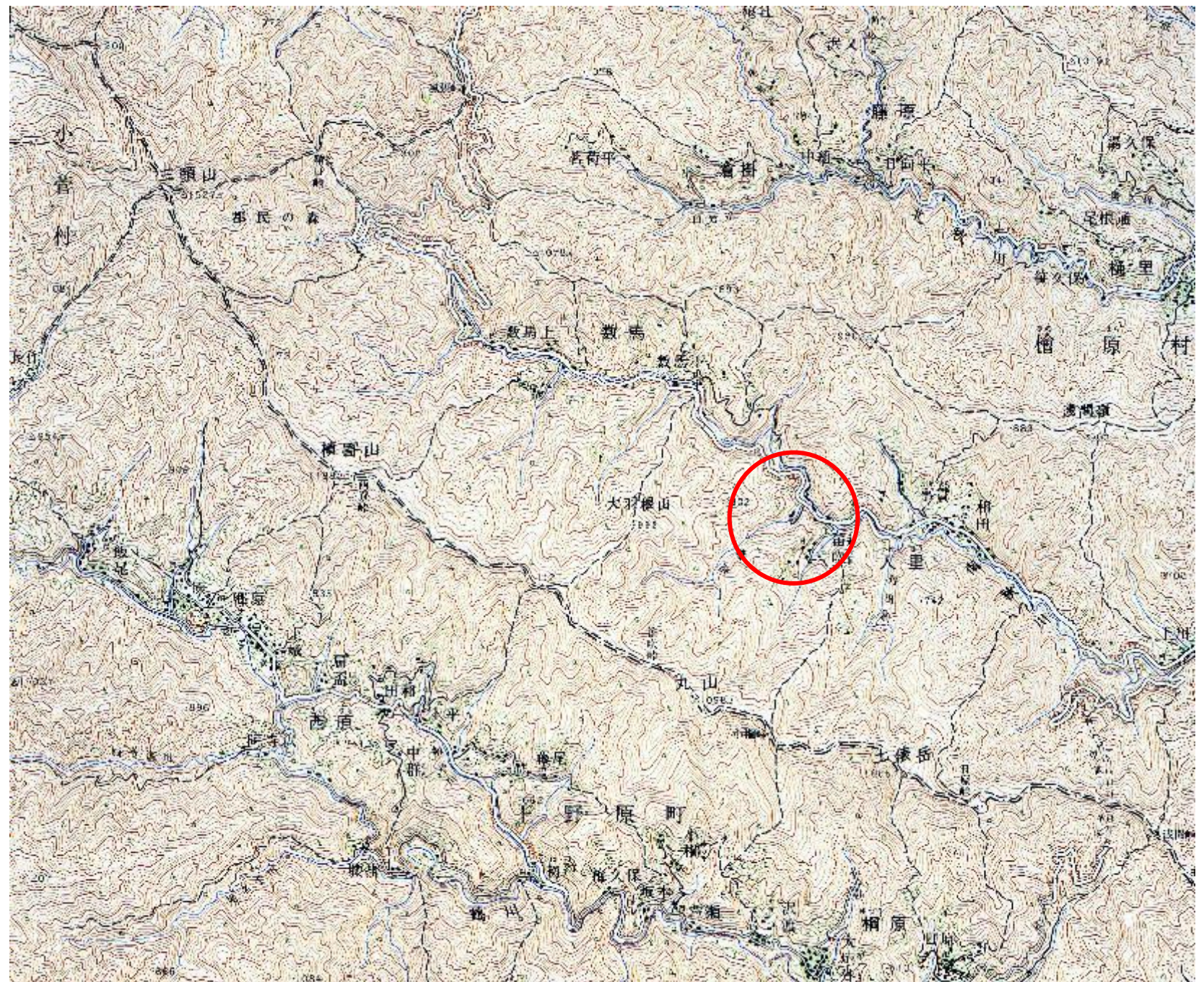


檜原村産業廃棄物処理 施設予定地の地形・地質

20220625

小泉武栄・清水長正

予定地



予定地の場所



檜原村人里笛吹の森沢

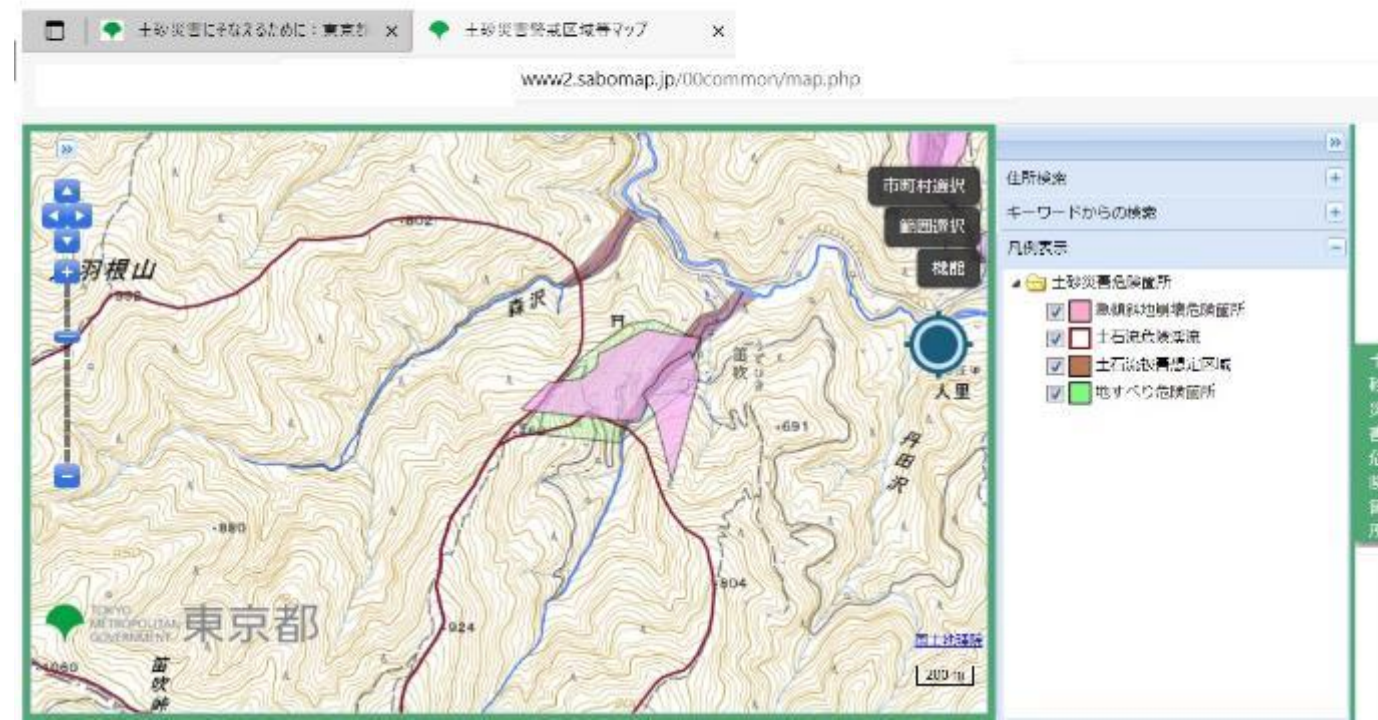
- かつて老人福祉施設「檜原苑」のあった場所
- その跡地に、比留間運送という会社が、バイオチップ工場を造るという名目で土地を取得
- しかし開けてみたら産業廃棄物処理工場だった
- 秋川の源流部に当たるところなので、檜原村やあきる野市など各地から反対運動がおこっている
- 水・大気の汚染
- 交通災害
- 豪雨災害の危険など

明治40年の地形図

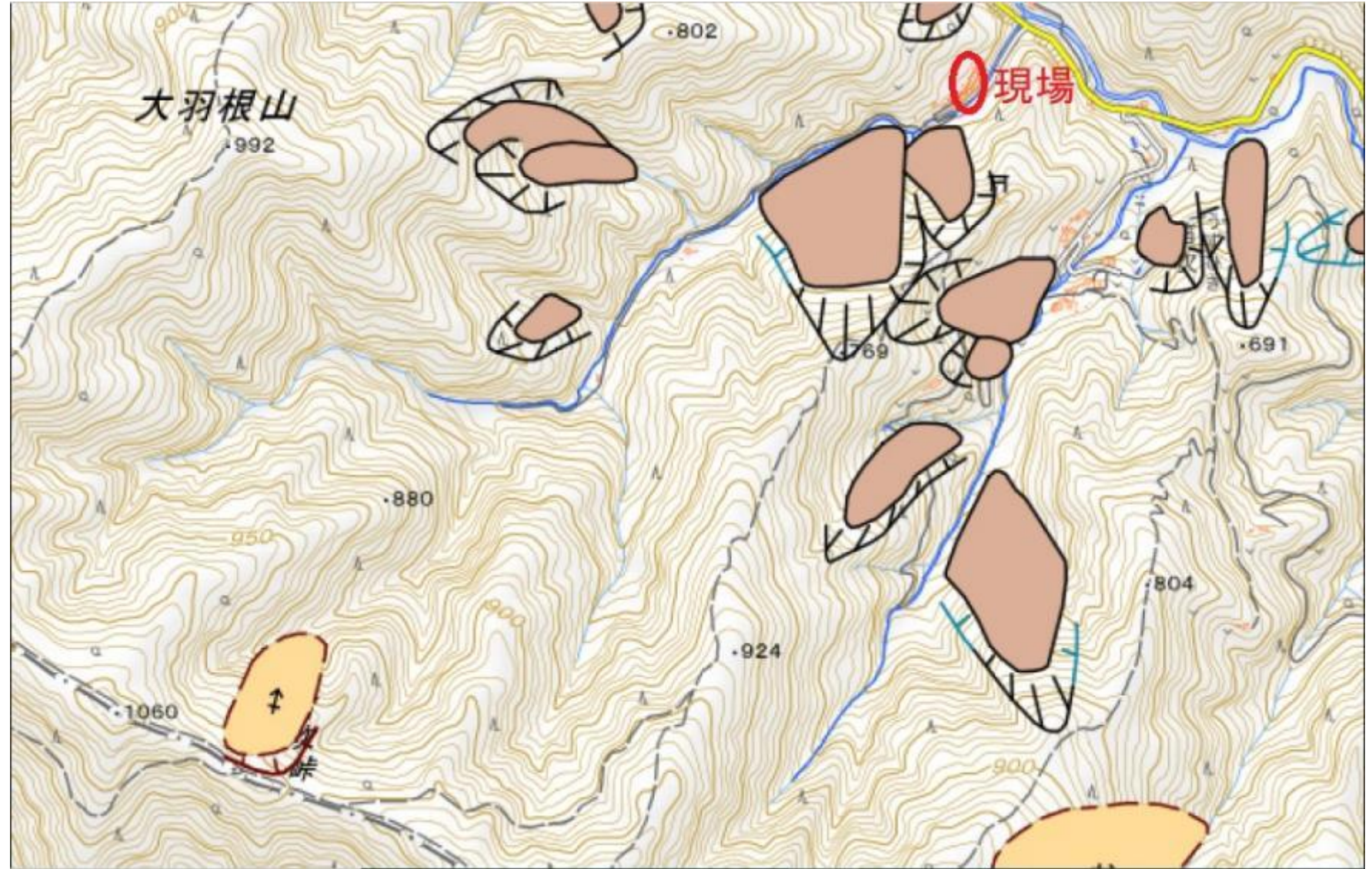
- 崩壊地になっている



土砂災害警戒マップ

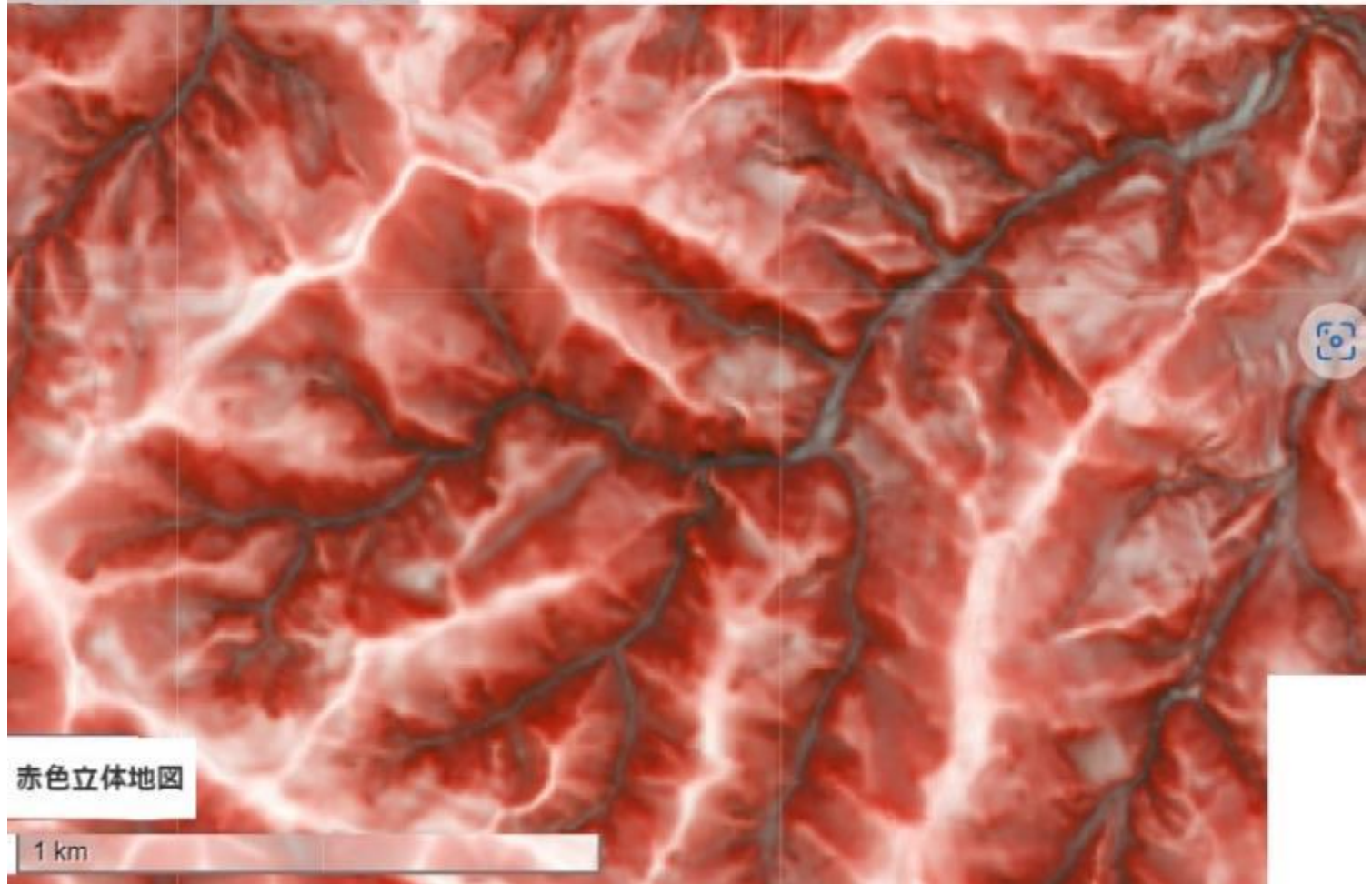


防災科研 地回り地図



土石流の危険などがすでに様々な機関から指摘されている

赤色立体地図 奥多摩地域



沢の入口 比留間運送の看板がある
バイオチップ工場と書いてある



老人福祉施設の跡地に 産廃処理施設を計画

- 面積が小さく、廃棄物の処理量も限度内に抑えてあるため、
環境アセスメントの対象にならない
- 業者の自主的な調査のみ
- 地形・地質に関する調査は必要でない
- 法律の不備
- 都議会が認めれば、建設は可能に
- しかし現場は危険極まりない

段丘堆積物を削り取って広場を整備



橋までの高さが2.3mしかなく、土石流が
起これば、すぐ越流する



なぜか予定地のすぐ上の斜面が掘削され、
表層地質の観察が可能に



掘削した 道路



基盤は風化した板状の黒色頁岩・粘板岩
極めて脆く、岩片化している



重力の圧力を受けて、折れている



ガサガサの堆積物



沢から水平距離で70mくらいまで

- 表層には森林土壌が載っている。厚さは1mくらいから、3mくらいと幅がある
- その下に大きな角礫を含む砂礫層が堆積している
- 砂礫層は少なくとも厚さ4mはあり、厚さ1m程度の層に分かれていて、境目は波打っている
- 層の境目には空隙がある
- 過去に表層の崩れが何回か、繰り返し発生したとみられる

崖錐または土石流堆積物



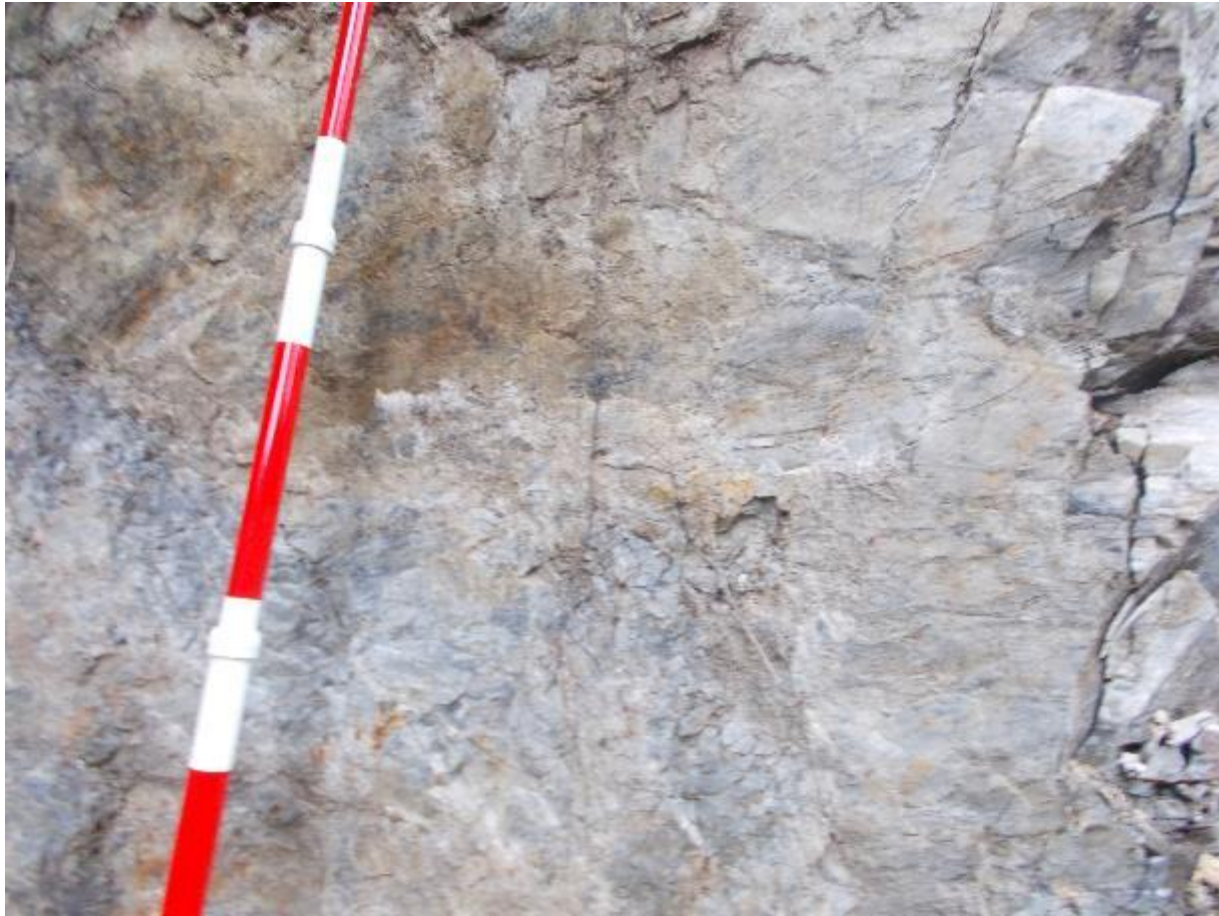
その先は岩屑が減って土壌が卓越する



谷に移行すると再び岩盤が



基盤が砂岩に変化し、そこに3本の断層
ができ、鏡肌と破碎帯が見える



砂岩の風化部分を経て厚い土壌に移行



尾根筋に風化した基盤が



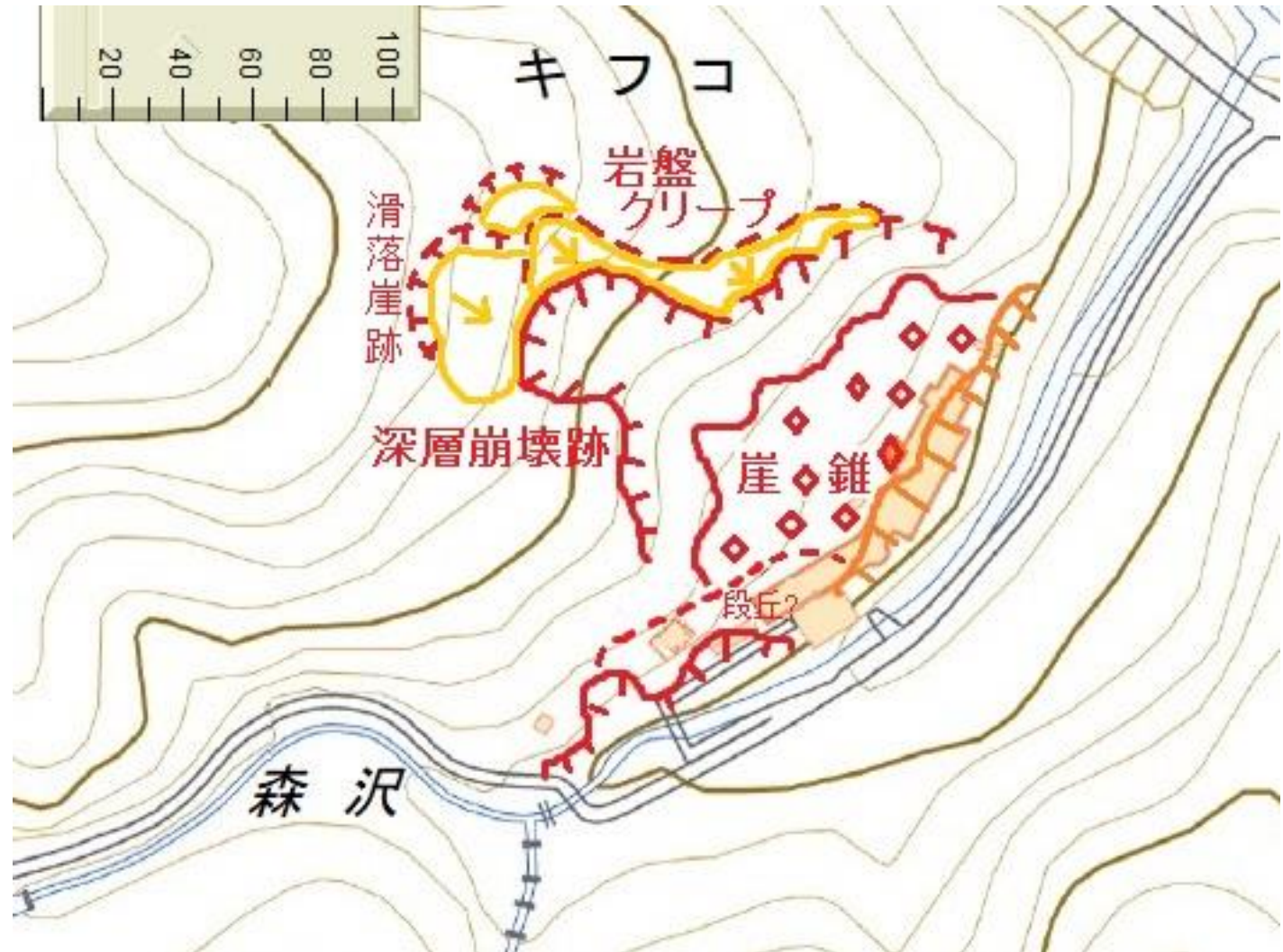
斜面上部に岩塊が載っている



現場の地形分類図（清水長正作成）

- 予定地の裏山の斜面
- 深層崩壊の跡があり、
その下方に、崖錐または
土石流堆積物が載っている

1991年の豪雨の際には
老人施設で床下に土石が
流れ込んだ



清水長正作図 森沢防災地形分類図



対岸の山地斜面

- 大規模な地滑り地形がみられる
- 中腹以下、全体が滑っている
- 対岸も極めて危険



対岸の山 斜面堆積物が見える



風化して細かく割れた頁岩ないし粘板岩層



右半分が基盤、左半分が土壌
全体が地氾りで動いている



重力で折れた基盤



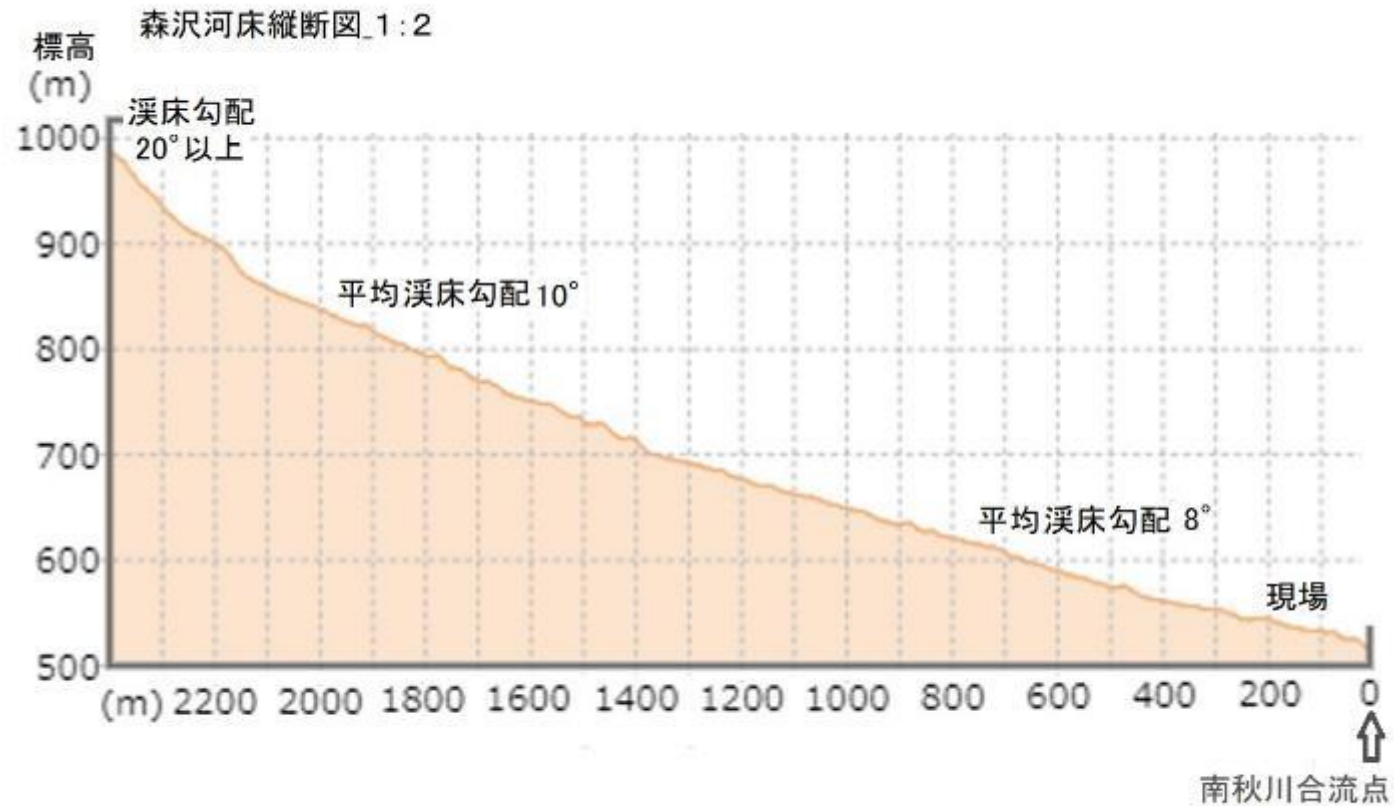
奥に 滑落崖



地這りで動いた山



沢の上流の河床勾配



河床にある巨礫 土石流で運ばれてきた



後ろの高まりは土石流堆
河床にも基盤は出ていない



道路右の高まり 土石流堆積物



奥の支沢から出てきたもの



森沢の出口付近の基盤と堆積物



上流の地質は固めだが、クラックや土石流堆積物があり、
斜面の傾斜も大きいので危険

